

平成22年9月30日公表

## 平成22年産水稻の作付面積及び9月15日現在における作柄概況 (長崎県)

—— 水稻の作付面積は前年産に比べて1%増加の見込み ——  
10a当たり予想収量は467kg(作況指数98)の見込み

### 【調査結果の概要】

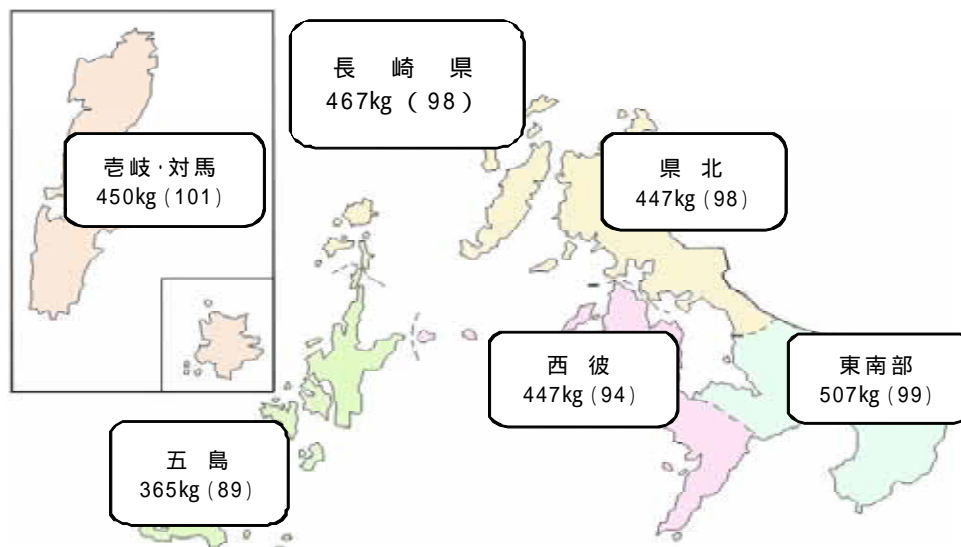
- 1 長崎県における平成22年産水稻の作付面積(青刈り面積を含む)は1万4,200haで、前年産に比べて100ha(1%)増加しました。  
うち、主食用作付見込面積は、1万3,900haが見込まれます。
- 2 9月15日現在における水稻の作柄は、10a当たり予想収量467kg(作況指数98)が見込まれます。
- 3 主食用作付見込面積に10a当たり予想収量を乗じた予想収穫量(主食用)は6万4,900tが見込まれます。

表1 平成22年産水稻作付面積、10a当たり予想収量(9月15日現在)

| 区 分   | 作付面積<br>(青刈り面積を含む) |     | 前年産との比較 |     | 10a当たり<br>予想収量 | (参 考)         |                       |                |                   |
|-------|--------------------|-----|---------|-----|----------------|---------------|-----------------------|----------------|-------------------|
|       |                    |     | 対差      | 対比  |                | 主食用作付<br>見込面積 | 予想収穫量<br>(主食用)<br>= × | 10a当たり<br>平年収量 | 作 況<br>指 数<br>= / |
|       | ha                 | ha  | %       | kg  | ha             | t             | kg                    |                |                   |
| 長 崎 県 | 14 200             | 100 | 101     | 467 | 13 900         | 64 900        | 476                   | 98             |                   |

注：主食用作付見込面積とは、水稻作付面積(青刈り面積を含む)から、需給調整カウントとなる米穀等(加工用米、新規需要米等)の面積を除いた面積(見込み)です。

図 水稻の作柄表示地帯別作柄概況(9月15日現在)



この資料は、以下のアドレスからご覧いただけます。  
【<http://www.maff.go.jp/kyusyu/nagasaki/tokei/sokuho/index.html>】

## 【解説】

### 1 作付面積

水稲の作付面積（青刈り面積を含む）は1万4,200haで、前年産に比べて100ha（1%）増加しました。これは、本年より戸別所得補償モデル対策が実施されたことで、新規需要米等の作付けが増加したことによるものです。

### 2 作柄概況

#### （1）出穂期

6月下旬から7月中旬までの日照不足により生育の遅れがみられましたが、梅雨明け後の気象が高温多照で推移したことから平年並みとなりました。

#### （2）穂数

6月下旬から7月中旬までの日照不足により分けつが抑制され茎数が平年よりやや少なく、有効穂数も少なくなりました。

#### （3）もみ数

1穂当たりもみ数は、幼穂形成期の日照不足により平年よりやや少なくなり、全もみ数は少なくなりました。

また、東南部、五島、壱岐・対馬地帯については、1穂当たりもみ数が平年並みないしやや多くなったものの、有効穂数が少ないことから全もみ数は少なくなりました。

#### （4）登熟（実入り）

早期栽培では、梅雨明け後の7月中旬以降高温で推移しましたが、全もみ数が少ないことから登熟はやや良となりました。

普通栽培では、8月中旬以降の気象が多照で推移していることから、登熟はやや良が見込まれます。

### 3 被害状況

気象被害は、6月下旬から7月中旬にかけての日照不足により、普通栽培では分けつが抑制されました。

8月11日の台風第4号の風雨により、県北部や島嶼部の早期栽培において、また、9月6～7日にかけての台風第9号の風雨により、島嶼部の普通栽培においてそれぞれ倒伏が発生しました。

病害は、紋枯病、縞葉枯病、いもち病が一部で見られます。

虫害は、ウンカ（トビイロウンカ）の被害が散見され今後被害の拡大が懸念されます。

表2 平成22年産水稻 9月15日現在の作柄概況（作柄表示地帯別）

| 区分        | 10a当たり<br>予想収量 | (参考)           |                 | 出 穂 期       |             |            |          |          | 穂<br>数<br>の<br>多<br>少<br><br>(平 年 比 較) | 1<br>穂<br>当<br>た<br>り<br>も<br>み<br>数<br>の<br>多<br>少 | 全<br>も<br>み<br>数<br>の<br>多<br>少<br><br>(平 年 比 較) | 登<br>熟<br>の<br>良<br>否 | 刈<br>取<br>済<br>面<br>積<br>割<br>合<br><br>(%) |
|-----------|----------------|----------------|-----------------|-------------|-------------|------------|----------|----------|--|---|--|-----------------------|--|
|           |                | 10a当たり<br>平年収量 | 作況指数<br><br>= / | 始<br>期      | 最<br>盛<br>期 | 終<br>期     | 最盛期の遅速   |          |  |   |  |                       |  |
|           |                |                |                 |             |             |            | 平年<br>比較 | 前年<br>比較 |  |   |  |                       |  |
| 県 平 均     | kg<br>467      | kg<br>476      | 98              | 月 日<br>7.19 | 月 日<br>8.25 | 月 日<br>9.6 | 並み       | 1日早      | 少ない                                    | やや少ない   | 少ない  | やや良                   | 15   |
| 西 彼       | 447            | 477            | 94              | 8.16        | 8.20        | 8.25       | 並み       | 1日早      | 少ない                                    | 少ない   | 少ない  | 良                     | 1  |
| 東 南 部     | 507            | 511            | 99              | 8.17        | 8.27        | 9.4        | 並み       | 1日遅      | 少ない                                    | 平年並み  | 少ない  | やや良                   | 1  |
| 県 北       | 447            | 458            | 98              | 7.17        | 8.26        | 9.6        | 1日遅      | 2日早      | やや少ない                                  | やや少ない   | 少ない  | やや良                   | 22   |
| 五 島       | 365            | 408            | 89              | 7.15        | 8.21        | 8.28       | 2日遅      | 1日遅      | 少ない                                    | 平年並み  | 少ない  | やや良                   | 32   |
| 沓 岐 ・ 対 馬 | 450            | 446            | 101             | 7.21        | 8.19        | 9.4        | 1日早      | 4日早      | 少ない                                    | やや多い  | 少ない  | 良                     | 40   |

注：出穂期の始期、最盛期、終期とは、出穂済みの面積割合がそれぞれ5%、50%、95%に達した期日です。

| 区分        | 作柄表示地帯に包括される市町                      |
|-----------|-------------------------------------|
| 西 彼       | 長崎市、西海市、長与町、時津町                     |
| 東 南 部     | 諫早市、大村市、島原市、雲仙市、南島原市                |
| 県 北       | 佐世保市、平戸市、松浦市、東彼杵町、川棚町、波佐見町、小値賀町、佐々町 |
| 五 島       | 五島市、新上五島町                           |
| 沓 岐 ・ 対 馬 | 対馬市、沓崎市                             |

【調査の概要】

1 調査の目的

本調査は、作物統計調査の作付面積調査及び水稻調査の中の作柄概況調査として実施し、水稻の作付面積、生育・作柄状況を明らかにすることにより、生産対策、需給調整、経営安定対策、技術指導等の農林水産行政推進のための資料とすることを目的としています。

2 調査客体数

(1) 作付面積調査

標本単位区：636単位区 巡回・見積り：21市町

(2) 作柄概況調査

作況標本筆：150筆 作況基準筆：22筆 巡回・見積り：21市町

3 調査期日

(1) 作付面積調査：7月15日現在

(2) 作柄概況調査：9月15日現在

#### 4 調査方法

##### (1) 作付面積調査

調査は、標本単位区に対する職員及び統計調査員による実測調査並びに職員による巡回・見積りにより行いました。

##### (2) 作柄概況調査

調査は、作況標本筆、作況基準筆及び被害調査筆に対する職員による実測調査及び巡回・見積りにより行いました。

#### 5 用語の解説

(1)「青刈り」とは、子実の生産以前に刈り取られて飼肥料用などとして用いられるもの（WCS用稲、わら専用稲等を含む）のほか、飼料用米、バイオ燃料用米を指します。

(2)「穂数の多少」とは、1㎡当たりに出穂したすべての穂の数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表しています。

(3)「1穂当たりもみ数の多少」とは、1穂についているすべてのもみの平均数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表しています。

(4)「全もみ数の多少」とは、1㎡当たりのすべてのもみ数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表しています。

(5)「登熟の良否」とは、登熟（開花、受精から成熟期までのもみの肥大、充実）が平年と比較して良いか悪いかを表しており、良、やや良、平年並み、やや不良、不良の5段階で表しています。

(6)上記の平年比較とは、過年次の作況標本筆結果から作成した各収量構成要素（1㎡当たり穂数等）の平年値との比較で、次のとおりの区分で表したものです。

| 多 少<br>(良 否) | 少ない<br>(不良) | やや少ない<br>(やや不良) | 平年並み    | やや多い<br>(やや良) | 多い<br>(良) |
|--------------|-------------|-----------------|---------|---------------|-----------|
| 対平年比         | 94%以下       | 95～98%          | 99～101% | 102～105%      | 106%以上    |

(7)「作況指数」とは、10a当たり平年収量に対する10a当たり予想収量の比率です。

(8)「10a当たり平年収量」とは、水稻の栽培を開始する以前に、その年の気象の推移や被害の発生状況などを平年並みとみなし、最近の栽培技術の進歩の度合や作付変動等を考慮し、実収量のすう勢をもとに作成したその年に予想される10a当たり収量をいいます。

#### 6 利用上の注意

本調査（9月15日現在）は、その後の気象が平年並みに推移するものとして作柄予測を行いました。したがって、今後の気象条件により作柄は変動することがあります。

#### 問い合わせ先

##### 本統計調査結果について

九州農政局 長崎農政事務所 統計部

生産流通消費統計課 生産統計係

電 話：(代表)095(845)6228 内線443

(直通)095(845)6229

##### 農林水産統計全般について

九州農政局 長崎農政事務所 統計部

統計企画課

電 話：(代表)095(845)6228 内線402

(直通)095(845)4217